

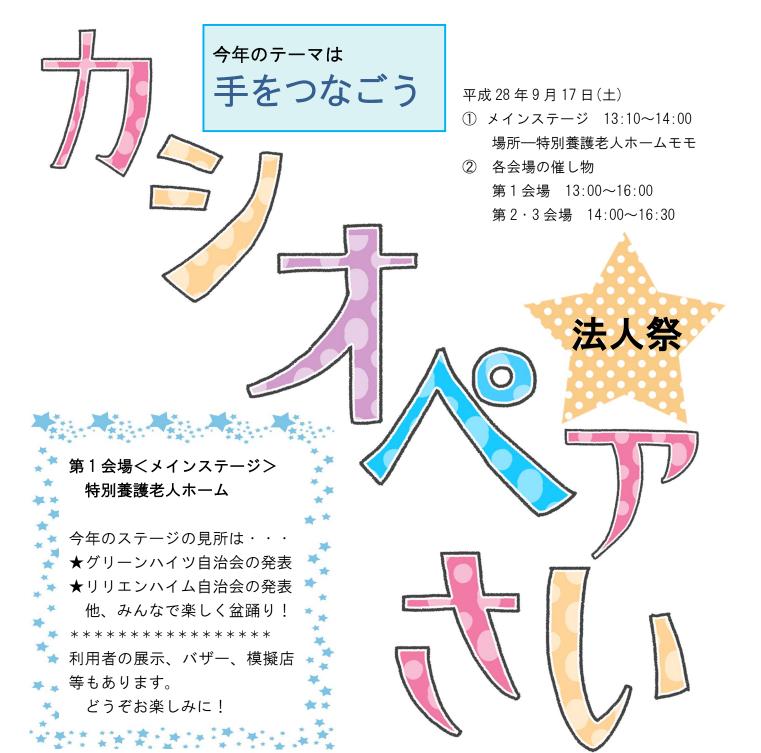


法人理念:「共生と自立」

利用者:生活の中で楽しく健やかに生き、生きる力を育むこと

職員:チームワークを持って仕事に励み、創造性を持って自己啓発すること

地域:地域との絆を保ち、地域との共助



第2会場 認定こども園モモ 「教育・保育展」

昨年に引き続き子ども達の 日々の生活を展示と体験を通 して紹介します。

各学年のスライド上映や体 験コーナー、おやつの試食コ ーナーもあります。 第3会場 認定こども園ピノ 「教育・保育展」

今年初めて古淵エリアで開催。地域・利用者に向けて、園の紹介はもちろん、各年齢の"保育ドキュメンテーション"、園の玩具での遊び体験やワークショップコーナーもあります。

# 特集 「蒼生会の防災について」

特養モモ/ピノ・ケアハウス施設長 渡辺 孝

現代の日本は各地で大地震が発生しています。今から5年前にはご存知の通り東日本大震災が発生し、記憶の新しいところでは、今年の5月に熊本地震がおきています。備えあれば憂いなしといわれますが、近年のこの2つの大地震の教訓を生かし、施設はそのための準備をしておかなければいけません。そして、記憶から決して消してはいけません。

蒼生会では、BCP(事業継続計画)活動に繋げる為、防災対策委員会を設置しています。しかし、計画案は未だ完成には至っていません。早急に完成させ、職員、利用者、関係者のみなさんに周知していきたいと思っています。

現在の計画では大規模地震(震度6相当以上)が発生した場合、まず初動期の対応は 1、自身の身や近くにいる高齢者、園児の身を守る為、頭を守り姿勢を低くし、転倒危 険のある物から距離を置き、落ち着いていただく声かけをしてください。

- 2、防火管理者を中心に、非常放送を使用し安全確保の声掛けを行い、被害状況を確認 の上、すぐさま公休を含めた職員を参集させる(各職員の関係者が問題ない場合)。
- 3、初動の役割分担を行い、施設内外の情報収集をし、二次災害防止の為の措置をとる。 としていますが、混乱を招くことは筆致の為、日頃からの防災訓練が重要となります。

備蓄関係については、高齢者施設内にはレトルト食品を中心に3日分の食糧、飲料が 用意されていますが、災害が大規模になれば到底足りるものではありません。その場合 は行政機関に設置される災害対策本部との情報交換により援助要請が必要となるでし よう。今後は、嚥下力を考慮したゼリー食等の検討も必要になります。

災害発生時の備品については、衛生面を考慮した物資として排泄用品の備蓄はあるものの、感染症の発生には十分な注意が必要です。喀痰吸引を実施するための非常電源バッテリーやトランシーバー、ヘッドライト、テント等の用意はありますが、他にも必要な備品は担架や応急医薬品等たくさんある為、揃えていかなければいけません。

高齢者の引き取り体制については、連絡網も確実とはいえない状況の中、可能な範囲で引き取りをお願いすることとなるでしょう。逆に、高齢者福祉施設は地域の「福祉避難所」として、可能な範囲で要介護者を受け入れることにもなると思います。BCPではマンパワーの確保、栄養摂取、排泄ケア、寒暖対策等が重要となり、ケアの継続の為に万全の備えが必要となります。

他に火災が発生したときには、日中、夜間の避難訓練で実施している通り、防火区域に利用者を避難させ、消防車の到着までは最低限の実施すべき消火、避難体制は取らなければなりません。なお、通常の地震発生時には、上記1,2を実施し、各フロア状況を確認し、安全確保を主に対処しなければいけません。

いずれにしても大地震が発生した場合、建物のリスク評価を考慮した上で、災害が想定以上になることを予測し、BCPのために情報共有、連携の確保を念頭に、「命」を守ることを主に対処することが必要です。



## 特別養護老人ホーム モモ

書道クラブ





第1・3水曜日は書道クラブを行っています。 お手本を見ながら、ボランティアの先生と共に、 楽しんでいます。

#### 生け花クラブ





第2・4水曜日は生け花クラブを行っています。昔を思い出しながら、皆さん真剣なまなざしです。素敵な作品は館内に飾っています。

## **ケアハウス** モモ 「七夕に願いを込めて」

6月13日、ケアハウス食堂にて七夕飾りを作りました。色とりどりの折紙を使い、一般的に良く知られている飾りから、オリジナルの作品まで種類の豊富な作品が出来上がりました。協力してくださった皆様、ありがとうございました。

7月2日に笹が届きましたが、昨年と 比べ、予想していたよりも大きな笹が 届き、びつくりしました。色の種類が 異なる短冊を数枚持参し、皆さん思い 思いの言葉を書いてくださいました。



入居者の方の挿絵が描かれた短冊は、とても素敵でした。笹を片付けたあとも希望された方の部屋に飾ってあります。





# デイサービスセンター モモ

デイサービスセンター・モモでは日々の活動に レクリエーションや手先を使う作業、陶芸、お茶 点てなどを行っています。身体を動かすレクリエ ーションはゲーム性を重視しチーム戦や個人戦を 行います。

これから運動会のシーズンです。紅白に分かれていくつもの競技に挑んでいきます。手作業では季節感あふれる大型作品から個々で取り組んで頂くカレンダー作りなど好みに合った活動を行っていきます。

#### 作品はカシオペア祭で展示します





## 認定こども園モモ 「子どもたちが楽しみにしている園庭遊び」

私たちの生活の中の身近な自然の1つに泥、水、砂などがあります。泥と水をつかってこねると泥だんごができたり、ギュッと握ったり、裸足で地面にふれると指の間からニュッと泥が出てきたりします。砂のおだんご、土のおだんご、握り方も出来上がりの感触も違います。子ども達は自分たちで工夫し時には協力して、この自然の恵みの水や土や砂で自由に何度でも作り直し繰り返し挑戦しています。砂場に山を作ってその下に穴をあけてトンネルを作り水を流したりし字構を通して水路も作ります。遊んでいくうちにどんどんイメージが広がり、水をくんで来る友だちと穴を掘る友だちと役割分担をして遊び出したりもします。私達も全身泥まみれで子ども達と一緒に遊んでいます。このような遊びが思いきり楽しめるのは幼児期のわずかな時期、そして夏場だけです。

イメージする力、協力して1つのものを成し遂げる社会性…泥遊びには、子どもの発達を刺激する要素がたくさんあります。



あっ!こわれちゃった・・・



そ~っと、そ~っと



流れるかな~?

# 認定こども園ピノ 「地域がピノのお庭です」

ピノには広いテラスもありますが、子ども達は積極的にお散歩に出かけて、地域の公園や自然に触れながら充実した戸外活動を楽しんでいます。

園庭が無いと運動量が少なくなりがち?そんなことはありません。子どもの遊ぶ場所を工夫する事こそ、保育者の腕の見せ所です。自然の中を散策したり、広場でドッチボールをしたり、公園で砂場遊びを楽しんだりと、地域の中を探せば遊び場は沢山あります。散歩中にはたくさんの発見があり、歩くことで体力づくりにもなり、なにより社会とのつながりが密になり社会性が育ちます。

四季折々の自然と親しみ、自分が生まれ育った地域を知ることは、外遊びの実体験が少なくなりがちな現代の子ども達にとって財産になることでしょう。



「みてみて。アゲハチョウだよ。」 「ロがストローになってるよ。」



畑では、とうもろこしや枝豆・小豆・さつま芋を育くたることです。毎週、畑に行くたうものます。毎ばして驚いているとまで表したちの手で栽培物を通したちの手で表見し、さら関わり、発見し、がわいてきないや探求心がわいてます。

## コミュニティーホーム ピノ 「ピノ祭り」

8月27日、開設4年目を迎えたピノでは、今年も恒例行事となりつつある夏祭りが行われました。生活の場であるユニットや公共スペースには出店が設けられ、お好み焼きや黒糖まんじゅう(通称 "ピノまんじゅう")などを食べられ、輪投げや射的に挑戦し景品を獲得する事もできました。また、デイサービスルームがカフェとなっていたり、駐車場では焼き鳥が香ばしい匂いを漂わせていたりと施設全体がお祭りムードー色に。

利用者のご家族にも参加していただき、ご家族とゆったりとした時間を過ごされた方もいれば、全部のお店を忙しく回られた方もおり、皆さま思い思いの時間を過ごされていました。













# コミュニティーセンター ピノ

梅雨も明け夏本番となったこの日。

コミュニティーセンターピノでは外出訓練の 一環としてひまわり畑に行ってまいりました。 普段とは違った景色や空気に触れることは、認 知症予防や改善に効果があると言われていま す。

今回は皆さまのとても良い写真を収めること が出来ました。ユニットに掲示していますので ぜひご覧ください。



座間市 ひまわり祭り 栗原会場にて

## 海外研修制度について

本部 小蔦 典幸

着生会の海外研修制度は、法人の経営する施設に勤務する職員を海外に派遣し、海外の施設サービスや居宅サービスの内容、方法、技術等について研修、調査し、施設運営及び利用者援助の向上に資することを目的としています。 着生会の海外研修は他の実施主体として、国、全国社会福祉協議会、神奈川県社会福祉協議会が行う海外研修に参加することもあります。研修への参加は法人から推薦された勤続年数 5 年以上からが対象です。これまでに、ドイツ、フィリピン、ハワイ、オーストラリアへ派遣し、今年はオーストラリアに行っています。「海外の現場を直接見る・知る」事が、職員の経験をさらに磨き上げます。他国の実情を知ることにより日本との違いに気付き、現在の仕事の改革につなげています。

## オーストラリア・シドニー認知症国際会議研修

大谷 真美

高齢者社会福祉協議会が主催する、オーストラリア・シドニー認知症国際会議研修 ツアーに参加しました。研修では、認知症国際会議の他にハモンドケアの施設視察が ありました。

認知症国際会議の会場には15か国もの人が集まり大変賑わっていました。認知症患者に対するケアのあり方や考え方、オーストラリアの補助金制度や研修、調査等と経済的支援についての発表がありました。利用者主導のケアを最も大切にしており、調査データを基に環境改善やケア方法を専門家と協同して検討し、支援の力を大きくしようと国全体の協力体制と熱意が感じられました。

ハモンドケア施設視察では、認知症介護や環境を整える重要さとアプローチ方法を 学びました。利用者が安心して幸せだと感じられるような環境やケアを目指しており、 外観も室内も一般の家のような造りになっていました。認知症の症状で混乱しないよ うな工夫が多くみられ、色を使った視覚でのアプローチや、一人で過ごせるような空 間、様々な騒音などを最小限にして、過ごしやすい生活空間を演出していました。入 居者は落ち着いており、家で寛いでいるかのような様子でした。また、ボランティア の活用で豊富なレクリエーション、療法活動が実施されており、支援の幅が広く生活 の質の向上に繋がっていました。

住み慣れた家を出て施設で過ごす高齢者にとって環境はとても重要で、また認知症による症状もあるため、様々な配慮が必要です。尊厳や自立性を高めていくことが、入居者の笑顔や自分らしい生活を送ることに繋がっていくと今回の研修で改めて学びました。入居者の"その人らしく"を大切にしていきたいと思いました。今回の研修は、認知症ケアを学ぶとても貴重な機会となりました。









児童

## 優しい音色・「オルガネッタ演奏会」

- \*日にち:2016年11月11日(金)
- \*場所と時間と申込み先(要予約)

○認定こども園ピノ\*10:00~10:30

042 - 750 - 0065

○認定こども園モモ\*14:00~14:30

042 - 767 - 8470

#### 高齢者

#### 風船バレー大会優勝

6月19日、施設風船 バレー大会が開催さ れました。 特養モモ・コミュニ ティーピノ合同チー ムで参加し、見事優勝 しました。



#### Contents

カシオペア祭……2

特集「蒼生会の防災について」…3

各部報告 …… 4~6

研修報告・研修制度について……7

伝言板 …… 8

コミュピノ便り



6月、入口の軒下に

ツバメが巣をかけました。えさを求めて 鳴くかわいい子ツバメたち。皆さんがそ っと見守る中、無事巣立って行きました。 来年もまた来るといいですね。

#### 編集後記

9/17 開催のカシオペア祭では地域との交流や 世代を超えた交流を目的としています。足を運 んでいただけましたら幸いです。また、臨時号 にて当日の様子などをお伝えします。どうぞお 楽しみに。

#### 社会福祉法人 蒼生会 HP http://sosaykai.org

特別養護老人ホーム ショートステイ モモ TEL 共通 042-767-8030

デイサービスセンター モモ TEL 042-767-8280

ウス モモ TEL 042-767-8281

居宅サービスセンター モ モ TEL 042-767-8278

FAX 共通 042-767-8032

神奈川県相模原市南区鵜野森 1-22-17

コミュニティーホーム ピノ ショートステイ ピノ コミュニティーセンター ピノ

TEL 042-745-1701

FAX 042-745-2745

〒252-0301

神奈川県相模原市南区鵜野森

1-15-12

#### 認定こども園モモ

TEL 042-767-8470 FAX 042-767-8475

〒252-0301

神奈川県相模原市南区 鵜野森 1-21-4

#### 認定こども園ピノ

TEL 042-750-0065 FAX 042-750-0068

〒252-0344

神奈川県相模原市南区

古淵 1-8-1